

■ SL-GMS Developer for .NET によるリアルタイム GUI が、富士通のビル管理システム Futuric/SX 製品の新版に採用 ビルオートメーション(BA)/設備監視システム専用のカスタム・エディタが組み込まれ提供

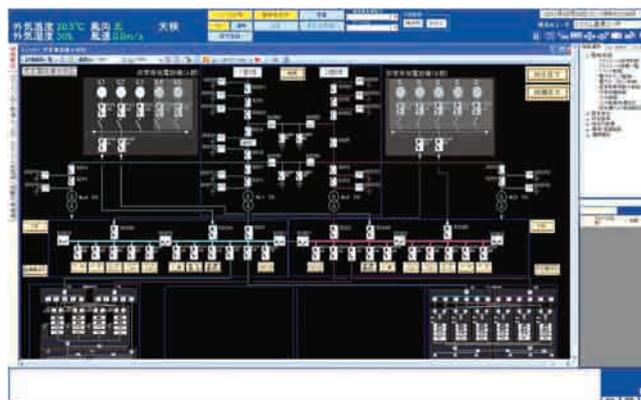
2011年5月24日 プレス・リリースより:

SL ジャパンは、富士通株式会社（以下、富士通）のビル管理システムである施設総合管理システム「Futuric/SX シリーズ」製品の新版の監視制御画面に、米 SL 社製の SL-GMS Developer for .NET が採用され、SL-GMS Custom Editor for .NET によるシステム専用の画面エディタ機能が組み込まれたことを、発表しました。

SL-GMS Developer ならびに Custom Editor for .NET は、世界で小中規模から管制センターの大規模な監視制御までの製品とシステムの多数に組み込まれて提供されてきた SL 社の比類なくコンパクトで高速なリアルタイム・ダイナミック GUI とそのエディタ技術を、Visual Studio を使った Microsoft .NET フレームワークにおける迅速な開発と保守に特化したものです。

富士通が提供するビル管理システム「Futuric/SX シリーズ」は、ビル内の電力、照明、空調、防災などの設備を統合監視するオープンネットワーク対応のビルオートメーション(BA)システムで、これまでさまざまな広域施設、駅舎ビル、企業設備などの数々で稼働してきました。BACnet（米冷暖房空調工学会）や LonWorks（米エシエロン社開発）などのオープンな LAN プロトコルを採用し、設備監視制御機能をベースに、設備管理とビル情報機能を有機的に統合したシステムで、小中規模から大規模構成まで、ニーズに合わせた柔軟なシステム構築が可能です。今回、Windows ならびに Web 化に対応した Futuric/SX 新版では、その監視制御画面と専用エディタに、SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET が採用されました。

富士通では顧客要求に迅速に対応するため、業界の主力製品である「Futuric/SX シリーズ」専用の高機能で高速な画面とその編集機能を SL-GMS で実装し、富士通のパートナー各社による案件ごとの画面開発と保守における生産性向上、ひいてはコスト削減をも可能にしました。

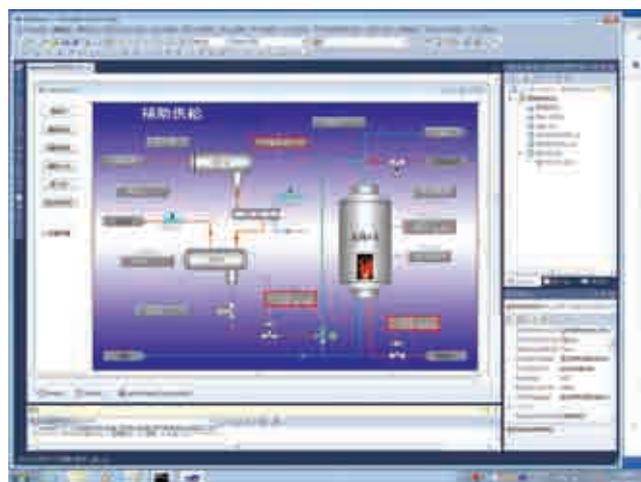


Microsoft .NET ベース SL-GMS 製品の新しいエディションで、64 bit ネイティブ Windows にフル対応 最も高度な新世代の監視制御システム開発を支援

2011年9月7日 プレス・リリースより:

SL 社は、64 bit ネイティブ Windows をフルサポートする SL-GMS Developer for .NET ならびに SL-GMS Custom Editor for .NET 製品の新しいエディションを、今月末に一般リリースします。この新しいエディションによって、SL-GMS ユーザは 64 bit Windows OS をフル活用し、最も高度な新世代の監視制御システムを開発して運用することができます。

これまでの SL-GMS Developer ならびに Custom Editor for .NET 製品エディションにおいても、32 bit 互換モードの 64 bit Windows をサポートしてきましたが、今回の新しいエディションで、さらに完全な 64 bit モードをサポートします。64 bit ライブラリに完全対応した SL-GMS により、ユーザはより多くのメモリとより大きなファイルにアクセスして大量のデータをさらに高速に処理できるため、性能条件が極めて高い監視制御システムのパフォーマンスを劇的に強化することが可能になります。



さらに、32 bit 版 SL-GMS で開発した動的属性を持ったグラフィカル・モデルならびにエンドユーザ顧客向けのカスタム・エディタは、64 bit 版 SL-GMS と上位互換性が維持されているため、SL-GMS を組み込み再販してきた OEM ならびに VAR 企業は、64 bit ネイティブ・アプリケーションの速さを活かした新世代の監視制御システムへスムーズに移行できます。

既存の監視ツールとの統合を簡素化、Web で運用する RTView アプリケーションの性能を強化など

2011年8月19日プレス・リリースより:

SL 社は、アプリケーション性能監視 (APM) ソリューション構築ツールとしての利用が増えている RTView の最新バージョン 5.9 をリリースしたことを発表しました。最新バージョンでは、既存のインフラ/アプリケーション監視ツールとの統合を簡素化し、また Web で運用する RTView アプリケーションの性能を強化しています。

「SL 社の RTView が、アプリケーション性能管理 (APM) 分野で勢力を伸ばしているのは、既存のシステムを入れ替えるソリューションではないからである」と、SL 社の設立者でプレジデント & CEO であるトム・ルビンスキはコメントしました。「今回の RTView 新バージョンは、最も堅牢で高性能な APM 機能を提供しながらも、関連のアプリケーション・サポート部門が引き続き使い慣れた監視ツールを利用できるように強化している」と、追加しました。

□ プレス・リリース全文:

http://www.slj.co.jp/newsevents/pressrelease/2011/sl_j_press_110819.shtml



「RTView と Google マップを使ったスマート・グリッドの監視」 デモ

SL 社の SL-GMS は、発電所や変電所における電力設備監視やシミュレータ、ビル管理、鉄道、水処理、プラント/工場における電気設備監視を最も得意とする分野の一つとして、長年に渡って活用されてきました。さらに SL 社の RTView は、電力売買取引ならびに電力供給・需要オペレーションの監視や、発電所周辺の放射線環境汚染の監視などでも使用されています。

今回は、日本国内でもその必要性がクローズアップされてきたスマート・グリッド/スマート・メーターを監視する一例として、RTView と Google マップを使った新しいデモをご紹介します。

電力使用状況のデータは、インターネットで公開されている CSV ファイルから読み込んで表示しています。このように、RTView では既存の監視データに接続して、すぐに可視化して監視することができます。

□「RTView と Google マップを使ったスマート・グリッドの監視」デモ・ビデオ (2分55秒):

<http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/SmartGrid/SmartGrid.html> (ビデオ再生には Windows Media Player 11 が必要です。)



イベント・セミナー開催のご案内

Application Performance 2011 @ 東京ミッドタウン・ホールA (ミッドタウン・イーストB1F)

<http://www.f2ff.jp/ap/>

★スポンサー講演: 2011年11月15日 (火) 14:15~15:00 無料・事前登録制



「既存の監視ツールやデータで『カスタム構築』するアプリケーション性能管理 (APM) ~サービス/ビジネス・アクティビティの状況が見えるインフラ/アプリ監視~」
株式会社 SL ジャパン 代表取締役社長 羽島 良重



ユーザ層、ミドルウェアとサーバ層、ハード OS 層の多層で構成される今日の複雑な分散アプリケーション環境における監視・管理ツールや性能指標などのデータすべてをリアルタイムに直接インメモリで集約し、サービスに応じて「カスタム構成」できるアプリケーション性能監視について、世界で人気のオンラインストアやグローバル銀行などの事例とともに解説いたします。またセッションでは、実際に SL 社の RTView for APM のビルダーを使い、監視画面、アラートや対応アクションをクリック & ポイントでカスタムメイクするデモなどをご覧ください。

The Microsoft Conference 2011 @ グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール

2011年9月28日・29日

<http://www.microsoft.com/japan/events/msc/2011/default.aspx>

SL ジャパンは、The Microsoft Conference 2011 に出展する株式会社 NTT データのブースで、Microsoft StreamInsight 複合イベント処理 (CEP) に接続した RTView による「マイクログリッド」のリアルタイムな可視化と監視のデモ展示に協力いたします。

Real-Time Visibility

年3回発行 2011年9月27日発行 通巻40号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。